

平成30年度
鹿児島大学法文学部
編入学学生募集要項

鹿児島大学法文学部

郵便番号890-0065

鹿児島市郡元一丁目21番30号

電話 099-285-7525

法文学部の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法文学部は、法政策学科、経済情報学科、人文学科から構成され、高度の専門教育と幅広い教養を同時に学ぶことのできる総合大学のなかの文系総合学部です。情報化、国際化および地域経済構造の変化や過疎化、高齢化などの諸問題に適切に対処できる現実的な課題解決能力をもつ人材の育成をめざします。このような観点から次のような人を求めます。

- 1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力のある人
- 2) 地域社会と世界の間・文化・社会に関心をもつ人
- 3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力を身につけたい人
- 4) 大学で自分の将来および可能性を見定めたい人

【法政策学科】

法政策学科は、リーガル・マインド（法的思考能力）と政策立案能力を用いて、個人・家族・地域共同体・国家・国際社会の諸問題を解決することができる人材の育成を主要な教育目標にしています。こうした観点から、法政策学科は次のような人を求めます。社会科学や外国語を学ぶうえで必要な基礎学力に加え、地歴・公民分野における高等学校教科書レベルの基礎学力を備える人、人間と社会を科学的に分析することに知的好奇心をもつ人、実践的な法解釈力、政策立案能力、国際知識の習得に意欲がある人、社会規範を尊重し、地域・社会貢献に意欲がある人、そして、強い社会的関心を持ち、新聞や書籍を日常的に読んでいる人です。

編入学試験では、上記のような教育目標を踏まえ、他大学等において身につけた学力に加え、社会科学を専門的に学ぶために必要な意欲と能力について、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜を行います。

【経済情報学科】

経済情報学科は、情報化・国際化の進展する経済社会のなかで地域社会からの要請に応えることができる人材の養成を教育目標にしています。具体的には、情報を創造的に活用し、地域的・国際的視野から問題を発見し解決することのできる人材を養成します。そのために次のような学生を求めています。

- 1) 他大学等で2年以上にわたり、基礎的な学習内容をしっかりと習得している人
- 2) 地域的および国際的な社会・経済問題に対して常に関心を持ち、解決しようという意欲のある人
- 3) 新しい課題に積極的に取り組み、自らを成長させようという意欲のある人

このような学生を養成するため、編入学試験では、成績証明書ならびに筆記試験（経済学）および面接の成績を総合的に評価し、他大学等で2年以上学んで得た学力に加えて、社会科学に強い関心を持ち、柔軟な発想力と適切な論理の展開能力、表現能力の優れた入学者を選抜します。

【人文学科】

人文学科は、人間の思想と行動についての深い洞察力と世界の諸文化を柔軟に理解する能力を持ち、現代社会に生じる文化的・社会的諸問題やグローバル化の中で生じる地域の課題に適切に対処することのできる人材の養成をめざしています。そのために、入学の段階では、国語と外国語の学習によって言語能力や論理的思考力、批判的分析力を身につけていること、地理歴史や公民、理科によって社会や歴史、思想、文化、環境に関する基礎知識を幅広く習得していること、さらに数学によって数論的処理の基礎を学んでおくことが望まれます。

編入学試験では、他大学等での学習経験が今後の修学に生かせるかどうかにか重点をおいた選抜を行います。具体的には、人文科学の専門知識を習得する土台となる幅広い基礎知識、批判的分析力、論理的思考力、表現力とともに、高い意欲をもっているかどうかという点を重視し、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して選抜します。

1. 募集人員

学部名	学科名	募集人員	編入学年次
法文学部	法政策学科	} 10 人	3 年次
	経済情報学科		
	人文学科		

2. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者とする。

- (1) 短期大学もしくは高等専門学校を卒業した者または平成30年3月卒業見込みの者
- (2) 大学を卒業した者または平成30年3月卒業見込みの者
- (3) 学校教育法第104条第4項の規定により、大学評価・学位授与機構からの学士の学位を授与された者または平成30年3月までに授与される見込みの者
- (4) 他の大学に2年以上（休学期間を除く。）在学し、50単位以上を修得した者または平成30年3月までに2年以上（休学期間を除く。）在学し、50単位以上を修得見込みの者
- (5) 外国において学校教育における14年以上の課程（日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。）を修了した者または平成30年3月までに修了見込みの者
- (6) 学校教育法施行規則附則第7条（旧制高等学校、旧制専門学校を卒業した者等）の規定により大学の一般教養課程を修了した者と同等であると認められる者
- (7) 上記(1)～(6)の各号のいずれかに該当し、外国の国籍を有する者（日本国の永住許可を得ている者を除く。）で、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験」のN2（旧2級）以上を認定された者

※ 合格した場合でも、出願資格に応じた号において、上記(1)号の短期大学もしくは高等専門学校を卒業していない者、上記(3)号の大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与されていない者、上記(4)号の他大学での在学期間が2年に満たない者、上記(4)号の修得した単位が50単位に満たない者、または上記(5)号の外国において学校教育における14年以上の課程を修了していない者については、入学を許可しないので注意すること。

※ 他大学を卒業見込みで受験して合格した者が卒業できなかった場合には、上記(4)号の出願資格により出願したものとみなす。

3. 出願手続

(1) 出願期間

平成29年9月25日(月)～9月29日(金)

受付時間 9時～16時（ただし、12時～13時は除く。）

郵送の場合、9月29日(金) 16時までに必着とする。

(2) 出願書類等提出方法

志願者は、出願書類を整え一括して提出すること。郵送の場合は、必ず本学所定の封筒を利用して、書留速達郵便とする。

	出願書類など	摘 要
1	編入学志願票	本学所定の用紙に必要事項を記入すること。 ・法政策学科または経済情報学科への志願者は、志願票に記入すること。 ・人文学科への志願者は、志願票および希望専修コースに関する意向調査書に記入すること。
2	写真票・受験票	出願前3か月以内に撮影した写真を本学所定の写真票および受験票に貼ること。(上半身, 脱帽, 正面, 縦5cm×横4cm)
3	成績証明書	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、履修中の科目についてはその旨記載すること。
4	卒業(見込)証明書 または在学(期間) 証明書	出身学校長が作成したもの。 短期大学, 高等専門学校もしくは大学を卒業(見込)の者は、卒業(見込)証明書。大学に在学中の者は、在学証明書, 退学した者は在学期間証明書。
5	学士の学位授与証明書 (出願資格 ⁽³⁾ に該当する志願者)	大学評価・学位授与機構が発行したもの。 ただし、授与される見込みの者は、所属長が発行した学位授与を申請する予定の証明書。
6	入学検定料(30,000円)の振替払込受付 証明書(お客さま用)	入学検定料(30,000円)は、平成29年9月15日(金)以降に、(それ以前は払い込まないこと)必ず郵便局の受付窓口で払い込むこと。その際、払込取扱票等の※印欄は、必ず記入すること。ATMでの払込みはできないので留意すること。 振替払込受付証明書(お客さま用)を本学所定の台紙に貼り提出すること。 また、既納の入学検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 ア) 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合 イ) 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合
7	受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、本学所定の封筒に、住所、氏名および郵便番号を記入し、362円分の切手を貼ること。
8	宛名シール	この要項に折り込んであるシールに住所、氏名および郵便番号を記入すること。
9	日本語能力試験(N2以上)の認定書の写し (出願資格 ⁽⁷⁾ に該当する志願者)	外国の国籍を有する者(日本国の永住許可を得ている者を除く。)は、公益財団法人日本国際教育支援協会が実施する「日本語能力試験(N2以上)の認定書の写し」を提出すること。
10	その他	日本に在住する外国人は、市区町村長の発行する「住民票の写し」(在留資格が記載されたもの)を、その他の者はパスポートの写しを提出すること。

(注意) 出願書類等に不備、記入もれなどがある場合は受付できないので、十分点検して提出すること。
なお、不備のものは返却する。

(3) 出願書類等提出先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番30号

鹿児島大学法文学部学生係 TEL 099-285-7525

(4) 受験票の交付

出願書類を直接持参した者にはその際に、郵送した者には郵送で、受験票を交付する。

4. 選 抜 方 法

編入学者の選抜は、筆記試験および面接ならびに成績証明書の成績を総合して行う。

※検査科目の合計点は200点とする。

5. 学力検査の日時・場所・検査科目

期 日	検査科目	時 間	場 所
平成29年10月21日（土）	筆記試験※	10：00 ～ 12：00	法文学部
平成29年10月22日（日）	面 接	10：00 ～	法文学部

※法政策学科においては「法学」を、経済情報学科においては「経済学」を、人文学科においては「人文総合」を課す。

6. 合格者の発表

平成29年11月10日（金） 10時

（鹿児島大学法文学部掲示板および法文学部ホームページ（http://www.leh.kagoshima-u.ac.jp/wp_leh/）に掲載するとともに合格者本人宛に通知する。なお、電話などによる問い合わせには応じない。）

7. 入 学 手 続

(1) 期 間 平成29年12月4日（月）～12月6日（水）

受 付 時 間 9時～16時（ただし、12時～13時は除く。）

郵送の場合、12月6日（水）16時までに必着とする。

(2) 編入学時に要する経費等

入学料 282,000円（入学手続き時に納入する。）

授業料 前期分 267,900円

（年額 535,800円）

（注） 入学料、授業料改定が行われた場合は、改定額が適用されます。

8. 注 意 事 項

(1) 出願後の出願書類の記載事項の変更は認めない。

(2) 受験の際は、受験票を必ず携行すること。

(3) 障害（学校教育法施行令第22条の3に準ずる障害の程度）がある者で、受験および修学上特別な配慮を必要とする者は、出願前に本学に相談すること。

(4) 不明な点は、鹿児島大学法文学部学生係（TEL 099-285-7525）へ問い合わせること。

9. 編入学後の履修について

(1) 編入学後は、3年次に編入し、各学科で定めるカリキュラムに従い履修する。

(2) 編入学以前に履修した単位は、法文学部の卒業必要単位として換算・認定することがあるが、卒業要件に不足する単位は、本学部の履修基準に従って履修しなければならない。

(3) 編入学後の履修に関するオリエンテーションを平成30年3月15日（木）（13：30～）に実施するので、入学手続き者は全員出席すること。

(4) 修業年限は2年とし、休学、停学等の期間は算入しない。在学期間は修業年限の2倍を超えることはできない。

10. 入試情報開示

受験者の個人成績を次により開示する。

(1) 開示内容

総合得点を開示する。

(2) 開示期間

平成29年11月14日(火)～12月13日(水) 9時～17時(ただし、12時～13時,土・日曜日,祝日を除く。)

(3) 開示請求方法

1) 請求者 受験者本人に限る。(代理人の請求は認めない。)

2) 請求方法

①法文学部学生係で直接,開示請求する場合は,受験者本人が受験票を提示した上で,本学部所定の下記様式の開示請求書に必要事項を記入して提出すること。開示内容は郵送にて回答する。返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留392円分の切手を貼付し,宛先を明記)を持参すること。

②郵送により請求する場合は,次の(イ)～(ハ)を取り揃えて,封筒の表に「編入学入試情報開示請求」と朱書し,必ず書留郵便で法文学部学生係へ請求すること。ただし,開示期間中の消印のあるもの限り受け付ける。

(イ) 開示請求書(様式例のとおり)

様式例 A4用紙

入試情報開示請求書
平成 年 月 日
鹿児島大学法文学部長 殿
請求者 住所
電話
氏名
受験学科
受験番号
私の入試成績について,入試情報の開示を請求します。

(ロ) 受験票

(ハ) 返信用封筒(長形3号封筒に簡易書留392円分の切手を貼付し,宛先を明記する。)

・請求先

〒890-0065 鹿児島市郡元一丁目21番30号 鹿児島大学法文学部学生係

(4) その他

平成29年度以前の個人成績は開示しない。

※個人情報の取扱いについて

出願により知り得た情報は,入学者選抜,入学後の学務業務および授業料の債権管理等を行うためのみ使用し,他の目的には使用しません。

平成30年度鹿児島大学法文学部編入学志願票

- 法政策学科
経済情報学科
人文学科

		受験番号 ※	
ふりがな			
氏名	志願学科		学科
生年月日	昭和 平成	年 月 日	性別 男・女 本籍 都・道 府・県
出願資格	大学 学部 学科(コース) 学年 在学中 昭和 平成 年 月 日 卒業 卒業見込 修了 退学		
現住所	〒 携帯電話 (- -) 電話 (- -)		

履 歴 事 項			
期 間	年 数	学校名または勤務先名等	備 考
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			
年 月 ~ 年 月			

記入上の注意

- 欄は、いずれかに✓印を記入すること。
- ※印欄は、記入しないこと。
- 履歴事項欄は、高等学校から記載し、職歴も含め記入すること。外国人は、小学校入学時から最終学歴までの修学年数がわかるように記入すること。
- 休学期間がある場合は、その旨を備考欄に記入すること。

切り離さないこと

平成30年度
鹿児島大学法文学部編入学

法政策学科
経済情報学科
人文学科

写 真 票

受験番号	※
志願学科	学科
氏 名	

写 真

正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの。

写真の裏面に、氏名を記入し貼付すること。

切り離さないこと

平成30年度
鹿児島大学法文学部編入学

法政策学科
経済情報学科
人文学科

受 験 票

受験番号	※
志願学科	学科
氏 名	

写 真

正面上半身無帽で、出願前3か月以内に撮影したもの。

写真の裏面に、氏名を記入し貼付すること。

人文学科 希望専修コースに関する意向調査書

◇鹿児島大学法文学部3年次編入学試験に合格した後、人文学科では専修コースに所属することになります。専修コースは五つのコースに分かれています。(表を参照)

◇この意向調査書は、入学後に所属を希望する専修コースに関するアンケートです。希望するコースを第一希望欄に記入し、出願時に提出してください。人間と文化コースおよびメディアと現代文化コースを希望する人は、必ず第二希望まで記入してください。その際、人間と文化コース、メディアと現代文化コースを第二希望とすることはできません。

◇人間と文化コースおよびメディアと現代文化コースを希望する人は、試験の結果によって、第二希望で合格となることもありますので、慎重に記入して下さい。

表 人文学科における専修コース

専修コース ※この欄の名称を記入すること。	専修コースの概要
人間と文化	心理学を基盤に、人間の行動・認知の基礎メカニズム、社会・文化的環境と人間の相互作用、現代社会の精神病理現象などについて学びます。
メディアと現代文化	現代の社会や文化に見られるさまざまな現象を、「メディア」をキーワードに、言語学、社会学、文化論、マスコミ論などの観点から研究します。
比較地域環境	フィールドワークをとおした、「人・物・場所」へのダイレクトな接触とデータ抽出、分析解釈、伝達の方法の習得を重視したコース。地理学・考古学・文化人類学・宗教学などの教員により構成されています。
日本とアジア	日本および中国を中心とするアジアの文化について、歴史学、文学、言語学等の面から総合的に研究します。
ヨーロッパ・アメリカ文化	ヨーロッパ・アメリカ地域の言語・文化・歴史・思想を多角的に捉えることのできる専門技能の習得をめざします。

受験番号	氏 名
※ここは記入しないこと	

第一希望 _____

第二希望 _____

【入学検定料払込受付証明書（お客さま用）】貼付用台紙

志願者氏名	
志願学科名	

ここに、
入学検定料を郵便局で払い込んだ際に受け取った
「振替払込受付証明書（お客さま用）」を
貼って提出のこと。